平成25年度 事務事業評価シート ※平成24年度に実施した事業を評価しています

								/N 1 /2021	一人に一人心とした子と	кентшо с	0,
事務事業名称		精神保健福祉相談								継続	
コード	24	-	43	-	01	-	00	予算事業名	精神保健		
担当部署	保健医	療部	伢	保健予防課			健担当	予算事業コード	会計 10 款 04	項 01 目	03

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の	の位置付け	(太枠内)	位置	置付けなしの場合	ì	法名	令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	1章	ともに助け合い	、一人ひとりが健康で	でいきいきと安心して	暮らせるまち	実施計画事業名	なし	
方向性(節)	2節	生涯を通じ	た健康づくりと	安全なまちづ	くり	個別計画等の	川越市障害者福	祉計画
施策	2	保健衛生•	医療体制の充	芝実		名称	川越市保健医療計画	
細施策	1	精神保健対	対策の推進			当事業に関連		
			章害者福祉に	関する法律、障	言書者総	する事務事業	なし	
法令•条例等	合支援法	\$						

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何の ために実施するのか)	市民を対象に精神保健福祉士・保健師がこころの健康に関することや精神保健福祉に関する相談を随時受け、問題解決に向けて支援することを目的とする。
事業の概要 (活動内容、実施手段・ 方法など)	訪問、面接、電話、メールによる随時相談。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額			405	408	454	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A			263	278	454	228
人件費B	0	0	21,913	22,647	23,747	23,747
総コスト(C=A+B)	0	0	22,176	22,925	24,201	23,975
正規職員(1年間の従事人数)			2.91人	3.01人	3.16人	3.16人
臨時職員(1年間の従事人数)			0.50人	0.50人	0.50人	0.50人
国県支出金 D			0	0	0	
その他特定財源 E			0	0	0	
市の財政負担(=C-D-E)	0	0	22,176	22,925	24,201	23,975

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額 ※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4 成里指標・活動指標による分析

₽	<u> 风</u> 果	と指標・活動指標によ	<u>る分₹</u>	Τ					
- [評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
	成果	精神保健に関する相 談件数	件			5,316	· ·	5,300	27 年度 5,400
		指標の定義・説明		訪問、面接、電話	舌、メールによる相	談を受けた延件	数。		
									年度
		指標の定義・説明							
									年度
		指標の定義・説明							
									年度
L		指標の定義・説明					\		
			T 42 c	OF#2 2 HA	~ 4 Fr Fr / - > > 1.1	上土业() - ハ/土	トップ 10 100 日 のか	(人) 11分十m) た) か	上ロゴルフィ カレエノ・コ

指標に基づく評価

平成23年度から平成24年度にかけて、本事業に従事する正規職員の割合は増加したが、相談延件数は減少した。相談の内容が複雑で多岐にわたり、一人一人の相談対象者に時間がかかる傾向がある。効率性を考慮しながら、公的な相談関係機関として継続的な相談に向けて引き続き取り組む必要がある。

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況 効率性に課題

自立支援医療の受給者数や精神保健福祉手帳取得者数が年々増加していることから、相談対象者も増加していると推測される。そのため、これまで以上に関係機関と連携を図りながら、より効率的に問題解決を図ることが必要である。

(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)

中核市等の他保健所においても、保健所及び市町村における精神保健福祉業務運営要領に基づいて、同様の事業が展開されている。

③ 事業を廃止・縮小したときの影響

早期発見・介入が必要な精神障害者やその家族に対する医療や対応の仕方の相談機会が失われ、問題解決が遅れ、複雑化していく可能性がある。

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

	所管部署			保例	建医规	寮部		保健予防課	精神保健担当			
:	事務事	業名称	24	43	01	00		精神保健福祉相談				
今後3	25 年 度	継続		ころの健康や精神保健福祉ニーズに随時対応していくために、身近な相談先とし、きめ細やかなサービスを継続していく。								
年 間 の	26 年 度	継続		こころの健康や精神保健福祉ニーズに随時対応していくために、身近な相談先として、きめ細やかなサービスを継続していく。								
方向性	27 年 度	継続					青神保健福祉ニーズに随時対応していくために、身近な相談先と よサービスを継続していく。					